

# 頭脳循環を加速する若手研究者戦略的海外派遣プログラム海外派遣申請書

氏名 (フリガナ)

## 1. 現在までの研究状況（今回の海外派遣にともなう研究に限定せず記入すること）

(様式の改変・追加は不可。ただし分量を調整することは可)

研究の背景・目的

研究の方法・経過（見通し）(大阪市立大学大学院文学研究科国際ナショナルスクール関連事業[Rov 等を含む]への参加経験があれば記入する)

研究の特色

研究成果（見通し）

## 2. 海外派遣にともなう研究計画

(様式の改変・追加は不可。ただし分量を調整することは可)

派遣期間における研究活動の要旨(1~2 行程度、「申請者カード」(様式1)の「派遣期間における研究活動の要旨」と同一のものを再掲する)(派遣先機関名や学会名を含めて記述すること)

派遣期間における研究活動の背景・目的

派遣期間における研究活動計画(方法と行程)(日毎の予定については「日程表」(様式3)に記入する)

派遣期間中の学会・研究会等における発表・参加の計画(必須ではないが、派遣期間中に研究成果を発信したり研究交流したりすることが望ましい)

派遣期間のうち、宿泊費の支給を希望する日数の必然性について( 泊 日)

派遣期間中の達成目標(何をどこまで達成するかを具体的に記述する)

派遣期間における研究活動に期待される成果(海外派遣前後の研究活動の中に位置づけて記述する。海外派遣成果の発表予定については次項に記述する)

派遣にともなう研究活動の成果について帰国後に行う発表の予定(学会での発表予定(年月、学会名)、論文投稿予定(学会誌名)、その他)

その他、成果還元活動についての計画(例:大学院生を対象とした研究会での海外研究活動報告、海外における学会の研究動向の報告、海外の大学の国際戦略の報告、研究者養成戦略についての報告)

### 3. 研究指導者による評価

(様式の改変・追加は不可。分量を調整することは可)

評価者の所属・職名・氏名
被評価者(海外派遣申請者)との関係
申請者の研究能力・将来像に関する所見
今回の海外派遣にともなう申請内容に関する所見

#### 4. 学歴等

(様式の改変・追加は不可。ただし分量を調整することは可)

<b>学 歴</b>	
学部卒業年月日	西暦      年      月
大学名・学部・学科	
修士(前期博士)課程入学 年月日	西暦      年      月
大学院・研究科・専攻名等	
修了(予定)年月日	西暦      年      月
<b>博士の状況</b>	
【後期博士課程 [ 入学予定 ・ 在籍 ・ 修了 ・ 単位修得退学 ・ 退学 ]】	
入学(予定)年月日	西暦      年      月
大学院・研究科・専攻等	
修了・退学(予定)年月日	西暦      年      月
休学期間合計	年      月
<b>博 士 論 文</b>	
博士学位取得大学	
論文題目(予定)	
取得年月日(予定)	西暦      年      月
<b>研 究 歴 ・ 職 歴</b>	
年      月	

## 5. 研究業績

(様式の改変・追加は不可。ただし分量を調整することは可)

【著書】
【学術雑誌等に発表した論文など(査読有り)】
【学術雑誌等に発表した論文など(査読なし)】
【国際学会・シンポジウム等における発表】
【国内学会・シンポジウム等における発表】
【その他(報告書、海外での調査実績など)】